

株式会社ワンテンスの高機能性電解酸化水による

新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の不活性化効果の評価試験

○試験結果

2) 宿主細胞検証試験

- ・試験ウイルス：SARS-CoV-2 NIID 分離株；JPN/TY/WK-521（国立感染症研究所より分与）
- ・試験ウイルス懸濁液濃度： 5.1×10^4 PFU/ml

検 体	2) - 1 細胞毒性の有無	2) - 2 ウイルスへの細胞の感受性確認
		ウイルス感染価 (PFU/mL) 常用対数平均値
PBS (Negative control)	無	2.72
株式会社ワンテンスの高機能電解水(IELU)	無	2.71

- * 試験液を薬剤不活化剤で 10 倍希釈することにより、検体の影響を受けずにウイルス感染価測定ができることを確認した。

3) 本試験

- ・試験ウイルス：SARS-CoV-2 NIID 分離株；JPN/TY/WK-521（国立感染症研究所より分与）
- ・試験ウイルス懸濁液濃度： 1.2×10^8 PFU/ml

検 体	試験液 1ml 当たりの ウイルス感染価 (PFU/mL) の常用対数値			減少率
		常用対数値	常用対数値平均値	
PBS (Negative control)	混合直後	n1	6.81	/
		n2	6.81	
		n3	6.85	
	1分作用後	n1	6.82	
		n2	6.80	
		n3	6.81	
株式会社ワンテンス の高機能電解水 (IELU)	1分作用後	n1	< 2.00	99.999%以上
		n2	< 2.00	
		n3	< 2.00	